

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月 8日更新

事務事業名		道路台帳補正事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	九重 浩光
	施 策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	中山 大志
	施策の柱	66 計画的な道路の整備				所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 1	事業連番 10070	根拠法令	道路法第28条	
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	道路改良を行った路線や新規路線認定を行った路線等を道路法第28条の規定に基づき道路の台帳を調整しそれを保管することになっており、委託により台帳の整備及び補正を行う。 道路台帳管理システムの運用保守委託を行う。
【業務の流れ】	道路改良路線や開発による新設道路及び道路の形状が変更された路線をまとめ設計→発注→検査→支払いを行う。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	道路台帳を整備するため周囲の測量を行うが、敷地内への立ち入り等拒否されることもある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO) 道路台帳データ更新業務委託をし、道路台帳の整備・補正を行った。		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 道路台帳データ更新業務委託	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由	
→ ア 路線補正件数		道路台帳修正箇所を増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
道路台帳		→ ア 市道延長	m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
適切な市道の管理を行う。		→ ア 補正路線延長	m
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 年度毎の市道の状態を正確に反映させることが、適正な台帳管理につながる。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標		件	アイ		38	25	20	30	20	20	20	20
② 対象指標		m	アイ		423,589	425,873	429,000	426,694	430,000	440,000	450,000	460,000
③ 成果指標		m	アイ		217	2,042.1	1,200	2,260.1	1,300	1,400	1,500	1,600
投資 入費 量	事業 費 内 訳	財源										
		国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円		1,780	1,782	3,037	2,962	3,039	3,039	3,039	3,039
		(A) 事業費計	千円		1,780	1,782	3,037	2,962	3,039	3,039	3,039	3,039
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人		2	2	5	3	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間		500	150	680	1,550	680	680	680	680
		(B)人件費計	千円		1,978	591	2,709	6,142	2,709	2,709	2,709	2,709
トータルコスト(A)+(B)		千円		3,758	2,373	5,746	9,104	5,748	5,748	5,748	5,748	

事務事業名	道路台帳補正事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度的事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 令和2年度までに帰属された開発道路の台帳補正を行う。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 路線毎の更新情報等が確認できると更に成果の向上が見込める	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 道路台帳整備は必要であり削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の人数で業務を行っており、削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市が管理する道路であり公平。公正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市が管理する道路であり移行はできない。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

成果向上の余地有り

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<